

## 第 15 回国際協同組合デーin 和歌山を開催しました。

7月2日、和歌山県JAビル2階「和ホール」(和歌山市)にて、和歌山県内の4つの協同組合が組織する「和歌山県協同組合組織連絡会」主催で第15回国際協同組合デーin 和歌山が開催されました。

毎年7月の第1土曜日は、国連も認定する「国際協同組合デー」です。全世界の協同組合員が心をつなげて協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために、運動の前進を誓う日と位置付けられています。

「国際協同組合デーin 和歌山」は、「和歌山の元気は協同組合から」を合言葉に、協同組合の社会的役割の発揮を通じた「より良い地域社会の実現」をめざしています。

新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を絞り開催しました。全体で74人、県生協連からは、22人の参加がありました。

### 【内容】

1. 開会挨拶
2. 主催種・ICA メッセージ等紹介
3. 講演 「協同組合の果たす役割」  
講師 日本協同組合連携機構(JCA)代表理事専務 比嘉政浩 氏
4. 閉会

### 開会挨拶



和歌山県協同組合組織連絡会会長 中屋 徹氏  
(和歌山県農業協同組合中央会 会長理事)

〈挨拶趣旨〉 自然災害の多発、SDG's 推進など世界は転換期を向かえている。世界の貧困への対応は行政だけでは、しきれない事が予想される。そんな中、昨年12月42年ぶりに労働者協同組合法が成立、協同組合活動が見直されている。協同組合の意義、社会的役割を發揮し、協同組合の輪をひろげていきましょう。

## 講演



### 「協同組合の果たす役割」

日本協同組合連携機構(JCA)代表理事専務

比嘉政浩 氏

JCA の紹介、協同組合共通の情勢変化として、労働者協同組合法の成立と意義、SDG's 達成に向けた協同組合に寄せられる期待、規制改革を起点とする「改革」、解説頂きました。また、全国ですすむ協同組合間協同の事例報告を交え、最後に協同組合の果たす役割について、「使命と経済性両立の事業方式」「異種協同組合連携」「SDG's を学習し、これを物差しとして改めて綱領・理念の実現」を提言されました。